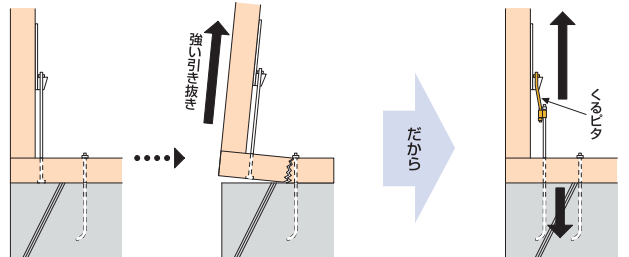


# 「ホールダウン金物とアンカーの穴位置が合わない!」 こんな現場の悩み、ご存知ですか? 『くるピタ』なら一発解消です!!

築年数が経っても柱のホゾ抜けを防ぎ、新築時の安全・耐久・耐震性を確保!

『くるピタ』は建築基準法により義務付けられた「ホールダウン金物」と基礎から立ち上げたアンカーボルトのズレを、簡単に調整し直結できるジョイントです。最大に偏心している場合でも短期基準耐力25kNの能力を持ち、10~25kN用のホールダウン金物に安心して設置していただけます。

- 15kN以上のホールダウン金物は基礎と直結させないと本来の耐力が見込めません。



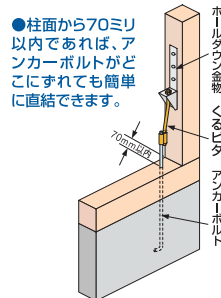
●約10kNでせん断破壊してしまう土台。15kN以上のホールダウン金物を土台を介して設置すると10kN以上の引き抜きがかかった時、土台がせん断する危険があります。

●土台の耐力を超える引き抜きに対しても、土台に頼ることなく直接、基礎・地盤で支持しますので確実です。

アンカーボルトの設置に多少のズレが生じても柱の中心にホールダウン金物がしっかり取り付けできます。

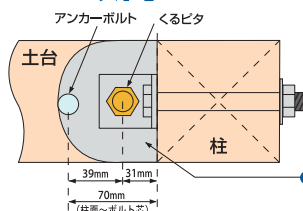
ホールダウン用アンカーボルトは、柱の面から31ミリの位置に正確に埋め込む必要があり、高い施工精度を要求されていました。

『くるピタ』は柱面から70ミリ以内であれば(柱に近いほうが偏心が少なく良い)どこにアンカーボルトがあっても簡単に施工ができ、筋かいやその他の障害物を避けた状態でどの位置にもホールダウン金物を取り付ける事ができます。



●柱面から70ミリ以内であれば、アンカーボルトがどこにすれても簡単に直結できます。

70mm以内のアンカーのズレであれば一発解消!



『くるピタ』は、アンカーボルトとホールダウン金物の穴位置が合わず、取り付けが困難な時でも、柱から70mmまでの対応幅があり簡単に取り付けすることができます。

- グレーの範囲内にアンカーボルトがあれば、しっかり柱の中心にホールダウン金物を取り付ける事ができます。

優れた施工性により工期を短縮、省コストを実現します。

『くるピタ』は、アンカーボルトの位置やホールダウン金物の取り付け位置の許容範囲の広さに加え、土台アンカーや土台の座掘りも必要なく基礎工事を簡単に、大工さんの手間を大幅に軽減します。

# New

## ホールダウン位置調整金物

# くるピタ

### 基礎直結型アンカーボルト用ジョイント

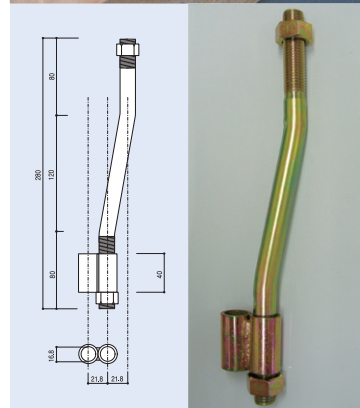
- 製品の性能試験データはウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.aimkk.com/product/kurupita/>

- ※ホールダウン金物及びアンカーは本製品には含まれていません。

アンカーボルトのズレに対応

(一財)建材試験センター  
2001年試験



「建築基準法により多くの木造2階建て以下の住宅にも  
ホールダウン金物または同等品」の設置が義務付けられています



New

ホールダウン位置調整金物

くるピタ

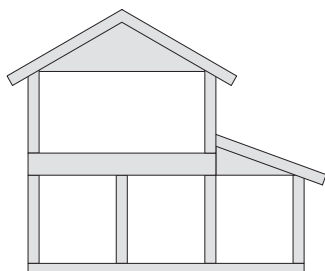


基礎直結型アンカーボルト用ジョイント

特許第3871549号

## 建築基準法対応

平成12年6月に建築基準法が変わりました



### 「木造の継手及び仕口の構造方法」(国土交通省告示1460号)

平成12年  
5月以前

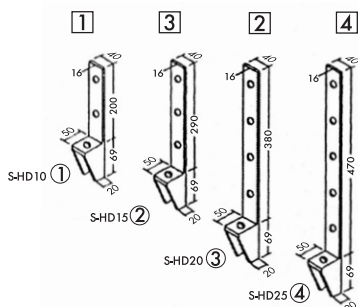
建築基準法には「くぎその他の金物を使用」とだけ明記されており具体的な接合方法については示されていなかった。

平成12年  
6月以降

1.筋交いのサイズによって、筋交いを止める金物が指定された。  
2.柱の位置、筋交いの強さで柱を止める接合金物が指定された。  
強い壁には強い金物を使用する事が規定。

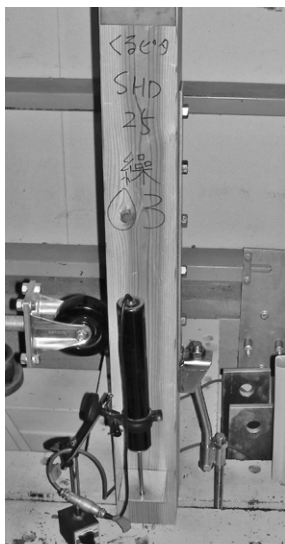
#### [ホールダウン金物の使用規定]

- ①の柱に2.0倍の壁が取り付けいていた場合、②を使用。  
2.5倍の壁が取り付けいていた場合、③を使用。  
3.0倍の壁が取り付けいていた場合、④を使用。  
4.0倍の壁が取り付けいていた場合、②を2つ使用。
- ②の柱に2.5倍の壁が取り付けいていた場合、①を使用。  
3.0倍の壁が取り付けいていた場合、②を使用。  
4.0倍の壁が取り付けいていた場合、③を使用。
- ③の柱に4.0倍の壁が取り付けいていた場合、②を使用。
- ④の柱に3.0倍の壁が取り付けいていた場合、②を使用。  
4.0倍の壁が取り付けいていた場合、②を使用。



## 最大偏心状態にて性能立証済み

試験状況(エイム(株) 実験棟にて撮影)



試験前



試験後

#### ●試験場所

一般財団法人 建材試験センター 中央試験所  
エイム(株) 実験棟

#### ●試験日程

平成13年10~11月(一財) 建材試験センター  
平成20年7~9月(エイム(株) 実験棟)

#### ●試験方法・評価方法

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター発行の木造軸組構法住宅の許容応力度設計『木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法』に準じて行った。

#### ●試験結果

くるピタをホールダウン金物に取り付けた引張試験結果

ホールダウン金物用ジョイント金具引張試験

| HD金物種類 | 短期基準<br>接合耐力 (kN) | 最大引張荷重<br>(kN) |
|--------|-------------------|----------------|
| S-HD15 | 19.6              | 43.5           |
| S-HD20 | 20.3              | 44.6           |
| S-HD25 | 24.9              | 53.4           |
|        | 25.2              | 45.5           |
| HD-B25 | 30.5              | 55.8           |

| 試験体番号 | 最大引張荷重<br>(kN) |
|-------|----------------|
| No. 1 | 59.2           |
| No. 2 | 58.3           |
| No. 3 | 59.1           |
| 平均    | 58.9           |

■販売店

Aim Corporation

エイム株式会社

本社 / 〒332-0002 埼玉県川口市弥平2-20-3 エイムWingビル…………… TEL:048-224-8160(代)  
大阪営業所 / 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-21 NLCセントラルビル5F… TEL:06-6101-0816(代)  
URL: <http://www.aimkk.com/>

QRのコードからエイム社の  
ホームページにアクセスができます

